

# 発見された倭京—太宰府都城と官道—

古田史学の会論集『古代に真実を求めて』—明石書店—第二十一集の出版を記念して、大阪府立大学 I-site なんばにて講演会を開催いたします。太宰府(倭京)の新発見と最新研究が報告されます。

主催：古田史学の会 後援：福島区歴史研究会、和泉史談会

講演会開催次第： 平成 30 年 9 月 9 日(日) 13:00 開場

13:10~13:15 開会の挨拶 福島区歴史研究会 会長 末廣 訂

13:15~14:35 「九州王朝の新証言—観世音寺の百済系瓦と太宰府の鬼瓦—」 古賀達也

・一元史観では説明不能、太宰府観世音寺の創建年代の真実に迫る

14:40~16:20 「太宰府に来たペルシャの姫・薩摩に帰ったチクシ (九州王朝) の姫」 正木 裕

・日本書紀に特筆されその後消息不明となった二人の女性の運命は

16:20~16:55 質疑応答

16:55~17:00 閉会の挨拶 和泉史談会 会長 矢野太一

◎ 予約申し込み不要、当日受付。参加費 1,000 円

場所：大阪府立大学 I-site なんば

学生は無料とします。



大阪市浪速区敷津東 2-1-41  
南海なんば第 1 ビル 2 階

地下鉄御堂筋線・四つ橋線  
「大国町駅(1 番出口)」下車、  
東へ約 450m、徒歩約 7 分

古田武彦先生が明らかにされた、九州王朝(倭国)の姿は既報の通りです。この九州王朝の都(太宰府)を防衛する巨大な羅城=筑紫土塁の一部が発見されました。大野城・基肆城・水城・そして筑紫土塁と巨大な防衛施設群に護られた倭国の都城。これら是一元史観では到底説明できないものです。「古田史学」の精鋭が眼から鱗の研究成果を発表します。質疑の時間もありますので、是非ともご参加いただき、意見を述べてください。